

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：ひかりの風保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：榎本 恵子	定員（利用人数）： 60名（67名）	
所在地：〒240-0067 横浜市保土ヶ谷区常盤台 75-3		
TEL：045-333-2011	ホームページ： <a href="http://www.hikari-kaze.ed.jp/">http://www.hikari-kaze.ed.jp/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日： 2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：学校法人聖ヶ丘学園		
職員数	常勤職員：14名 非常勤職員： 8名	
専門職員	保育士：20名	
施設・設備の概要	(居室数)	(設備等)
	乳児室（0～2歳児室） 2室 幼児室（3～5歳児室） 3室 沐浴室 1室 調理室 1室 トイレ 4室 事務室 1室 職員休憩室 1室	鉄骨造り 地下1階付2階建て 建物延べ床面積 568㎡ 園庭 239㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

共に生き、共に育ち合う

【基本方針】

子どもたちがもともと持っている自分で育つ力を大切にし、子どもたちのありのままを『受け止めて、褒めて、認めて、励まして、しっかり抱きしめて』  
子どもの自主性、自立心を育てる

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

ひかりの風保育園は、相鉄線の羽沢横浜国大駅から徒歩10分の立地にあり、目の前には自然豊かな横浜国立大学があります。子どもたちは、大学内で四季折々の自然に触れながら散歩を楽しんでいます。

設置法人は学校法人聖ヶ丘学園で、保育園の並びに聖ヶ丘保育専門学校があり、付属園である当園は学生と触れ合う機会が多く、実習生の受け入れや行事等を通して交流を深めています。近隣に同じ法人の育和幼稚園があり、お芋掘りや行事への参加等の交流を行なっています。法人は、保土ヶ谷区の2園のほか、鶴見区のにじの風保育園、中区のうみの風保育園、磯子区の八幡橋幼稚園を運営しています。

### 【園の特徴】

上記の保育理念・基本方針のもと、保育目標を下記の3項目としています。

- ① 心身ともに健康な子ども
- ② 他人への思いやりと感謝の気持ちを持てる子ども
- ③ 自分で気づき、考えて、行動できる子ども

子どもが自分らしく過ごせる場所、ありのままの自分を安心して出せる場所である保育園において、職員は子どもが元々持っている「自分で育つ力」を大切にして、子どもが自分で考え、行動できる子になってほしいという願いで保育に携わっています。また、園ではICTの活用を積極的に行っており、書類作成等にかかる時間を減らし、地域交流や子育て支援活動に積極的に取り組み、地域の子育てを応援できる保育園を目指しています。

### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 5月16日（契約日） ～ 2024年1月30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

### ⑥ 総評

#### ◇特長

#### 1. 保育の質の向上への取組

経験豊富な職員が多く、非常勤の職員も含めた職員間の連携がスムーズで、子ども一人ひとりの思いを受け止め、子どもに対する丁寧な対応をしています。ドキュメンテーションを保育実践のツールとして導入しており、職員会議で子どもの姿を写真で確認しながら保育の振り返りを行ない、遊びの展開を検討しています。また、研修の素材として有効に活用しています。保護者あてには写真を保育室入り口や共有スペースに掲示して、子どもの成長の様子を丁寧に伝えています。

食育の取組では、各年齢の年間指導計画をもとに各クラスの担任が「食育の年間目標」を記載し、四半期ごとの「ねらいと内容」「配慮と環境構成」の計画を作成し、自己評価を行なうなど、子どもの成長に合わせた充実した内容になっています。

#### 2. 職員の研修・自己評価の工夫

経歴や経験年数等に応じた研修内容一覧表は、必要とされる研修がわかりやすく整理されており、職員が研修を選択するにあたり、有益な資料となっています。多くの園外研修に参加し、その内容を園内研修や職員会議で報告し、全職員で共有し保育に生かしています。中堅保育士が後輩保育士を育てる取組を大切にしています。

各職員が行なっている年度末の自己評価は、「保育目標」3項目を見据えた振り返りを具体的に自己評価するものとなっており、職員は年間の保育の振り返りから次年度の改善点・課題を明確にしています。

#### 3. 環境整備への取組

室内は明るくきれいで掃除が行き届いており、玩具も念入りに消毒されています。各保育室には子どもの成長に合わせた遊具や玩具、絵本が、子どもの手の届く場所に備えられています。子どもが一人になりたいコーナーには机と椅子を備えています。広い園庭は乳児と幼児の遊ぶ時間を分けて使用し、0～2歳児は職員の見守りのもとでままごとや砂遊び、どろんこ遊び、押し車を押しながら探索活動をしています。

3～5歳児はドッジボールやサッカー、大縄跳び等、異年齢での遊びも盛んです。エレベーターホール前には図書ベンチコーナーがあり、子ども達の遊びの空間にもなっています。幼児フロアにはオープントイレがあり、子どもたちは順番待ちをし、ゆずりあって用を済ませ、手洗いを行ないスリッパをそろえることを身に着けています。

◇今後期待される点

1. 「期待する職員像」の明確化による人事管理

職員に対する研修制度等、保育の質を高める工夫がなされていますが、園が「期待する職員像」が明確になっていません。職位や経験年数別に求められる職員の役割・能力・知識等の園が求める職員像を明示して、その方向性に基づく具体的な人事目標を設定し、人事考課を実施することが望まれます。

2. 標準的な保育の手順書の作成

経験豊富な職員による質の高い保育を日々実施しています。標準的な保育は指導をするベテラン職員が実践で伝えていきます。その学びをより良いものにするために、手がかかりとなる標準的な保育が記載された、統一性のある教育・指導のための手順書の作成が望まれます。

3. 自園に即した中・長期計画の作成とその実現のための単年度の事業計画の充実

中・長期計画は、法人で5年ごとに付属の各園の原案をもとに作成しています。自園の状況に即した内容で、年度ごとの評価・見直しが可能な計画にすることが望まれます。また、単年度の事業計画は、中・長期計画を反映し、行事予定に留まらない保育内容・設備改善等も含めた園独自の計画を作成し、数値目標や具体的な成果等の設定で、実施状況の評価を行なえる内容になっていることが望まれます。さらに、職員等も参加して作成した計画は、適切な方法で保護者に周知することが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当園開園後、2回目の第三者評価受審となりました。今回は新しい評価基準での自己評価となり、戸惑うこともありましたが、調査員の方が丁寧に説明をしてくださったので、理解をしながら進めることが出来ました。そして子どもに関わる職員全員が自己評価を行い、それを元に話し合い、課題や問題点等を明確にすることで、保育全体を見直し、保育の質の向上に繋がられる貴重な経験となりました。また、「自分で育つ力を大切に」という思いで保育を行っていることが、保育の環境や保育士の言葉掛けなどから伝わってきましたという評価をいただいたことは、職員の自信や励みになっています。今回の受審でご指摘いただきました内容につきましては、今後の課題として改善に向けて取り組んで参りたいと思います。

最後になりましたが、お忙しい中アンケートにご協力いただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。また、評価機関、調査員の方々には、とても丁寧に観察や評価を行っていただきありがとうございました。

ひかりの風保育園  
榎本 恵子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり